

洋服職工二百名の 罷業から復職まで

斯くの如くして起り 斯くの如く終結す

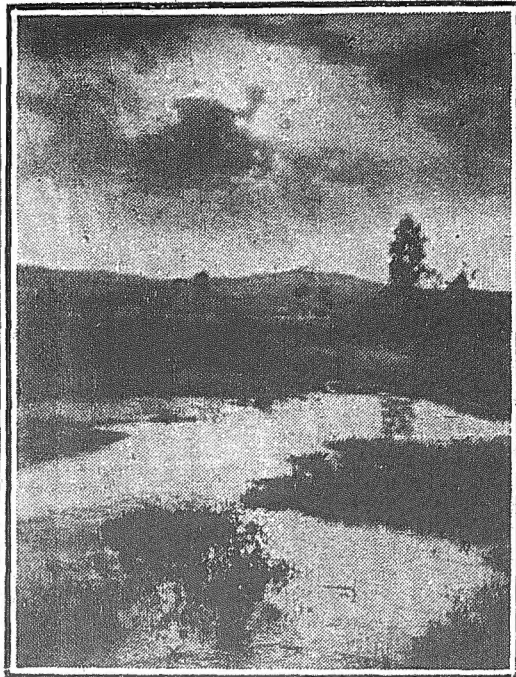
朝鮮最初の労働争議は、
洋服職工二百名の罷業から
復職まで、斯くの如くして起り
斯くの如く終結す。

朝鮮最初の労働争議は、
洋服職工二百名の罷業から
復職まで、斯くの如くして起り
斯くの如く終結す。

悲劇哀話のコレラ

朝鮮に何時コレラが侵入したか
平南警察 太田 政助

朝鮮に何時コレラが侵入したか
平南警察 太田 政助



コレラ流行の風景

北京地方の羅災 兒童五百人を

日本に運んで救済す
東洋婦人会 栗崎 史子

北京地方の羅災
兒童五百人を
日本に運んで救済す
東洋婦人会 栗崎 史子

北京地方の羅災
兒童五百人を
日本に運んで救済す
東洋婦人会 栗崎 史子

學校側態度強硬

學校側は飽まで二部學生に 其非違に就いて反省を求む

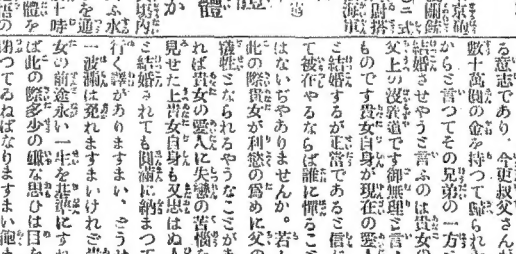
學校側は飽まで二部學生に
其非違に就いて反省を求む

學校側は飽まで二部學生に
其非違に就いて反省を求む

相撲部新設

土俵は大相
撲の貴ぶ

相撲部新設
土俵は大相
撲の貴ぶ



相撲部の練習風景

土俵の上下健闘する姿

女性の觀たる相撲の興味

土俵の上下健闘する姿
女性の觀たる相撲の興味

土俵の上下健闘する姿
女性の觀たる相撲の興味

論より證據

炎熱地帯を通過し氣候の激變に遭遇せし事一再ならずし
ごきも品に異状を認め極めて佳良にして乗員の嗜
好に最も適宜なりしは軍艦機關の證明せらるる處なり
本年參月召召香取奉還艦に多數上納の榮を得たるは
實に茲に存す
御愛用あらむ事を
發賣元 錦川 本町 屋 商店
京 旭 町 支 店
電話 二五九 番
支 店
電話 三五四 番

論より證據
炎熱地帯を通過し氣候の激變に遭遇せし事一再ならずし
ごきも品に異状を認め極めて佳良にして乗員の嗜
好に最も適宜なりしは軍艦機關の證明せらるる處なり
本年參月召召香取奉還艦に多數上納の榮を得たるは
實に茲に存す
御愛用あらむ事を
發賣元 錦川 本町 屋 商店
京 旭 町 支 店
電話 二五九 番
支 店
電話 三五四 番

論より證據
炎熱地帯を通過し氣候の激變に遭遇せし事一再ならずし
ごきも品に異状を認め極めて佳良にして乗員の嗜
好に最も適宜なりしは軍艦機關の證明せらるる處なり
本年參月召召香取奉還艦に多數上納の榮を得たるは
實に茲に存す
御愛用あらむ事を
發賣元 錦川 本町 屋 商店
京 旭 町 支 店
電話 二五九 番
支 店
電話 三五四 番

中元御贈答品として大軒には夏向の 折入御菓子がいりくご取揃にて御座 います

電話 八八八 番

中元御贈答品として大軒には夏向の
折入御菓子がいりくご取揃にて御座
います



Oris 時計

川魚料理開始

甘泉亭

川魚料理開始
甘泉亭

川魚料理開始
甘泉亭

移轉廣告

朝鮮煙草株式會社

移轉廣告
朝鮮煙草株式會社

移轉廣告
朝鮮煙草株式會社

考へもの!!募集

正解者 金指環五百個

考へもの!!募集
正解者 金指環五百個



Oris 時計

産婆

三池 鶴代

産婆
三池 鶴代

産婆
三池 鶴代

阿片事件公判

阿片事件公判

阿片事件公判

阿片事件公判

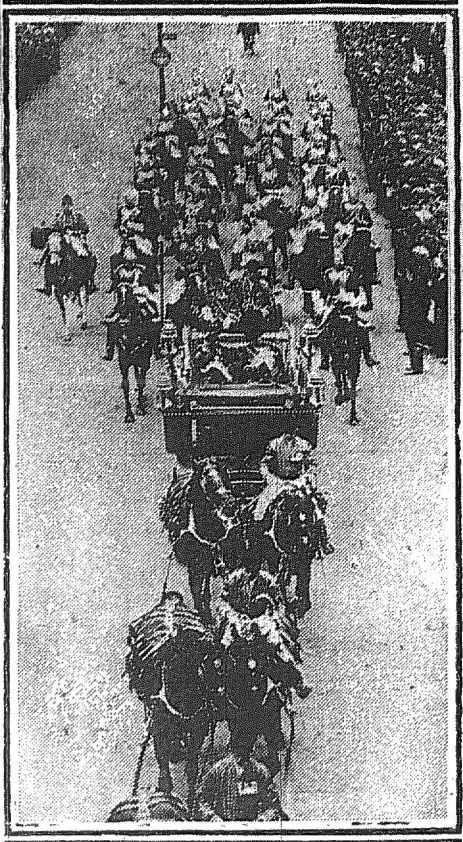
悲劇哀話のコレラ

朝鮮に何時コレラが侵入したか

悲劇哀話のコレラ
朝鮮に何時コレラが侵入したか

悲劇哀話のコレラ
朝鮮に何時コレラが侵入したか

悲劇哀話のコレラ
朝鮮に何時コレラが侵入したか



東宮ギ市市長訪問

公判は九月未開庭の見込
支線を合して七十を運轉
東宮ギ市市長訪問
東宮ギ市市長訪問
東宮ギ市市長訪問

ラングドン大尉を射殺した 小笠原一等卒自殺

自己が斯る重大事件を勃発させた責任観より
浦島運軍にては絶対秘密主義を採つて居る

左様な事は聴かない

當局が秘密にせぬ郷里
の親達も承知せぬ郷里

皇宮警察で 巡查の剣を短くする

長剣は歩くにも又活動す
るにも不便で門衛も改正

一ヶ條の要求で 東萊高普校盟休

校長を無視する教師の
横暴を憤慨せる原因因す

京電の運轉系統が變る

支線を合して七十を運轉
東宮ギ市市長訪問

勤務演習 召集された

後援者
召集された

加茂川丸 行方不明

暴風雨の爲か
行方不明

文藝春秋 を送った不

敬意
を送った不

三國事件 範圍を廣

範圍を廣
範圍を廣

衛生當局では 方面防疫會議

實行して朝鮮に防疫方法を
實行して朝鮮に防疫方法を

踏んで来た足跡

春枝夫人に見送られて北
方に旅した倭子の消息は

各地被害 死傷者夥し

死傷者夥し
死傷者夥し

暴風雨の 各地被害

死傷者夥し
死傷者夥し

東萊高普校盟休

校長を無視する教師の
横暴を憤慨せる原因因す

木下東作博士講演會

講演日程表
講演日程表

來れ斯界の權威 木下博士講演會

多年の研究を凝縮して
講演會

日支官憲の了解

國境に於ける
日支官憲の了解

拳闘試合

拳闘試合
拳闘試合

柴山大將夫人逝去

柴山大將夫人逝去
柴山大將夫人逝去

人さあつたり

人さあつたり
人さあつたり

大正新聞

大正新聞
大正新聞

演藝案内

演藝案内
演藝案内

世界珍品

世界珍品
世界珍品

最新刊

最新刊
最新刊

第十九席 小金井 潤 講演

講演の題目は「日本の将来」である。講演者は、日本の将来について、非常に明るい展望を示した。日本は、今後ますます発展し、世界の中心となるであろうと述べた。その理由として、日本の資源の豊富さ、国民の団結力、そして科学技術の進歩を挙げた。また、日本は、世界平和の維持に貢献する責任を負っているとも述べた。講演は、聴衆の大きな関心を集めた。



講演の題目は「日本の将来」である。講演者は、日本の将来について、非常に明るい展望を示した。日本は、今後ますます発展し、世界の中心となるであろうと述べた。その理由として、日本の資源の豊富さ、国民の団結力、そして科学技術の進歩を挙げた。また、日本は、世界平和の維持に貢献する責任を負っているとも述べた。講演は、聴衆の大きな関心を集めた。

土居八段 鮮満遊棋譜 第四局 (完)

於本局、土居八段は、先手を取って、序盤から積極的な戦いを展開した。対するは、後手を取って、防御的な戦いを展開した。双方、互角の戦いを展開したが、最終的に、土居八段が優勢を確立し、勝利を収めた。

本局は、土居八段の、先手を取って、序盤から積極的な戦いを展開した。対するは、後手を取って、防御的な戦いを展開した。双方、互角の戦いを展開したが、最終的に、土居八段が優勢を確立し、勝利を収めた。

本局は、土居八段の、先手を取って、序盤から積極的な戦いを展開した。対するは、後手を取って、防御的な戦いを展開した。双方、互角の戦いを展開したが、最終的に、土居八段が優勢を確立し、勝利を収めた。

梅雨季と 脳神経の故障

梅雨季は、湿度が高く、気温が上昇する時期である。この時期は、脳神経の故障の原因となる。脳神経は、湿度が高くなると、機能が低下し、故障の原因となる。また、気温が上昇すると、脳神経の機能が低下し、故障の原因となる。この時期は、脳神経の故障を防ぐために、適切な対策を講じる必要がある。

梅雨季は、湿度が高く、気温が上昇する時期である。この時期は、脳神経の故障の原因となる。脳神経は、湿度が高くなると、機能が低下し、故障の原因となる。また、気温が上昇すると、脳神経の機能が低下し、故障の原因となる。この時期は、脳神経の故障を防ぐために、適切な対策を講じる必要がある。

梅雨季は、湿度が高く、気温が上昇する時期である。この時期は、脳神経の故障の原因となる。脳神経は、湿度が高くなると、機能が低下し、故障の原因となる。また、気温が上昇すると、脳神経の機能が低下し、故障の原因となる。この時期は、脳神経の故障を防ぐために、適切な対策を講じる必要がある。

童話劇脚本懸賞募集

(本日初めの試み)

プラトーン 萬年筆

募集の趣旨

本会は、児童の健全な成長を促進し、児童の創作能力を伸ばすことを目的として、童話劇脚本の募集を行っている。募集された作品は、本会の主催する児童劇団によって上演される。募集期間は、大正十年七月一日から九月三十日までである。募集対象は、小学生から高校生までの児童である。募集作品のテーマは、児童の生活や夢、希望などである。募集作品は、A4サイズの紙に、縦書きで、約1000字程度で記述する。募集作品は、本会の事務局に送付する。募集作品の選定は、本会の審査委員会によって行われる。募集作品の賞金は、以下の通りである。

賞	金額	受賞者
金賞	金壹千圓	小山内薫先生
銀賞	金五百圓	久保田万太郎先生
銅賞	金貳百圓	楠山正雄先生
佳作	金壹百圓	秋田雨雀先生

応募規定

1. 応募作品は、A4サイズの紙に、縦書きで、約1000字程度で記述する。
2. 応募作品は、本会の事務局に送付する。
3. 応募作品の選定は、本会の審査委員会によって行われる。
4. 応募作品の賞金は、以下の通りである。

プラトーン 萬年筆

プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。

プラトーン 萬年筆

プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。プラトーン 萬年筆は、児童の創作能力を伸ばすためのツールである。

部具文堂陽太山中 東京 大阪

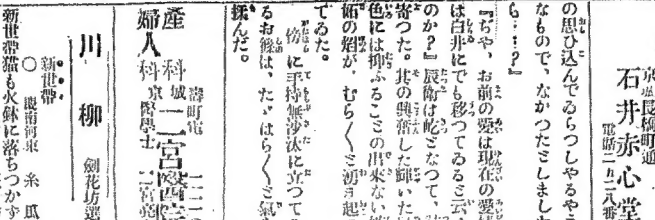
部具文堂陽太山中 東京 大阪

船名	出帆	船名	出帆	船名	出帆	船名	出帆	船名	出帆
大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂
大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂
大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂
大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂	大坂商船	大坂

[illegible]

第一九〇回

「おせんが、顔色をしたら、
『今、さうなましては、もはや時
目でございますませう。』
『然うござい、一日眠れたもの
は、最早元へは復しだい』と云
のか?』
『致方がございませせん。』
『俺が總てお願ひして、さう
に改てお願ひを求めて、さう
に、何うしても駄目だとい
ふ。』
『すでせう、私の愛情があな
たを救ふ。』

[illegible]

ラドセに

[illegible]

有 ぶ

[illegible]

ツラド ⊕

下
金壹圓四拾捌兩二錢地活歸所
署人金壹圓四拾捌兩二錢地活歸所
一、金壹圓四拾捌兩二錢地活歸所
松村人倉吉菜、床崎寅崎、
石川力子、太津英治、平
日通樂三、棚田實店、真駒前
丸九、東洋藥房、小島榮佐
兼九、石井孝、官田安藏、北澤屋、
中倉、如賀正、池西元健、洋屋、
二仙太郎、吉田里、松本材木店、
月見、村田代世所評并朱、肥
常明治道、中橋式武
一、五拾陸號
莫學生、井水榮、森其福過高取
一金伍拾六兩七錢壹分切符拾貳
合計入金七十兩壹錢柒分拾貳
文出合計貳百貳拾四兩八拾錢
差引肆兩叁拾貳錢八波比
四百零叁拾貳錢八波比也
有之通り候也
世間人杉本峯岡
以去年十二月五日迄

にて
有田意松
装を
置肥の

て、贈り先て皆喜ばれ。
 二、澤山到來合しても、品質は永く
 置けば置く程良くなり。
 三、金高が多くも少なくも自由で、
 而も嵩張らず、持歩きに最も便
 利な、一般御家庭の實用石鹼故
 御贈答季節には、特に本品の需要が激増して来る
 のであります。

○ミツワ石鹼

参個包 金九拾九錢

中元暑中の御贈答用品には實用的の品物をお選びになるのが必要です。

實用的の御贈答用品には最も大切な左の要素を具備してゐるもので

○ニッパ石鹼

バミ東丸

ちうげんしよちう
中元暑中の御贈答品には